

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

氏名 小坂愛・照井・長谷部・加藤・亀田  
阿部・田村(文)・小清水・岡田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・継続して、初期支援での詳細な情報収集に努め、より確かな情報共有が出来るよう試行していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・緊急の受入れの際はやはり情報が少なく、話し合い場を設けることが出来なかった。しかし、その状況下でも利用者様が不安にならないよう声を掛け合い支援していた。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人 (11.1%)	7人 (77.8%)	1人 (11.1%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		9人 (100%)		
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人 (22.2%)	6人 (66.7%)	1人 (11.1%)	
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2人 (22.2%)	5人 (55.6%)	2人 (22.2%)	
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8人 (88.9%)	1人 (11.1%)	

できている点
<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスシートや申し送り等の回覧を通して、情報を共有している。又、ミーティングができなくても回覧等に必ず目を通し、分からない事は他スタッフへ確認するようにしている。</li> <li>事前の情報と実際に対応してみても状態が違う場合も多いが、観察や傾聴する事でどのようなケアが必要であるかを考えている。</li> <li>利用者様の人となりを理解できるように努め、他スタッフへも情報として共有してもらっている。</li> <li>利用者様やご家族に安心して頂けるよう努めている。特に慣れていない新規の利用者様には不安にならないよう声掛けしたり、他利用者様と上手にコミュニケーションが図れるよう支援している。</li> <li>現在、マスク着用等でスタッフ側の言葉や表情が伝わりづらくなっているが、笑顔で優しくゆっくりと話すよう心掛けている。</li> </ul>

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談から受け入れまでの期間が短すぎる際、スタッフ全員が情報やニーズを把握して共有するのが難しい事がある。</li> <li>新規利用者様の初期情報が少なすぎて手探り状態の時がある。その際、ADL や認知症状の状況が分からず、どのようにコミュニケーションを図ればいいのか不安になる時がある。</li> <li>利用者様個々に関わる時間が少ない気がする。</li> </ul>	

なぜ? どうして? できていないのか? (その理由)
<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急性があり直ぐに支援が必要な場合は、話を頂いた当日に受入れする場合もある。そうすると、業務上休みや夜勤明けのスタッフは、情報やニーズを事前に把握する事ができない。</li> <li>独居で認知症状が進行していたり、ご家族との関係が希薄、ケアマネとの関係期間が短い等で入っている情報が少ない事がある。</li> <li>業務が忙しい時は、情報共有が雑になっているかもしれない。</li> <li>特に新規の方は紙ベースの情報だけだと、どのように接していくか検討するのに時間が必要。又、認知症状の有無や生活環境等によって接し方が変わってくる為、個別での対応の仕方を考えて共有に至るまで時間がかかってしまう。</li> </ul>

次回までの具体的な改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を適宜適切に共有するよう、チームワークを高めていく。</li> </ul>

2. 「～したい」の実現  
(自己実現の尊重)

氏名 小坂愛・照井・長谷部・加藤・亀田  
阿部・田村(文)・小清水・岡田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・プランを意識しながらケース記録への落とし込みをし、支援へ反映させていけるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・生活記録の様式を24時間シートを通し個別化したことにより、少しずつではあるがプランを意識した支援と記録になってきた。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		6人 (66.7%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	1人 (11.1%)	6人 (66.7%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1人 (11.1%)	6人 (66.7%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)		1人 (11.1%)
④ 実践した(かかった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2人 (22.2%)	5人 (55.6%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様の「～したい」の声を聞くように努め、言葉だけではなく表情やしぐさにも目を向けるようにしている。</li> <li>ご家族の要望(意向)を確認しながら支援している。又、ご家族が生活上で手が回らない部分で援助が必要な場合に関しても、その旨をご家族へ提案し支援体制をとれるようにしている。</li> <li>普段の業務でも気付いた事などがあれば相談し共有している。又、会議等でも問題提起や改善策等があれば発言しているし、振り返りも出来ていると思う。</li> <li>ライフサポートプランに目を通し、利用者様の目標を考慮しながら、日々目標に添えるよう支援している。その為に出来る限りコミュニケーションを図るよう努めている。</li> <li>プラン専用のファイルを作成する事により、スタッフが見やすい状態にしている為、プランを意識しながら支援するようになってきたと思う。</li> </ul>
--------	--

できていない点	<p>※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフサポートプランに目は通しているが、全員分を頭に入れておく事は難しい。又、プランに結び付けての記録に至っていない事がある。</li> </ul>
---------	--

なぜ？どうして？できていないのか？(その理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキルの問題でもあるが、全員分のプランを記憶しておくのは難しい事だと思う。</li> <li>プランに対する意識が足りないのかもしれない。</li> <li>目標は分かっているものの、利用者様本人の心身の状況で対応できない時もある。</li> <li>一人ひとりに寄り添う時間が少ないかもしれない。</li> </ul>
-------------------------	---

次回までの具体的な改善策	・常に振り返りをしながら、プランを意識した支援を心掛ける。
--------------	-------------------------------

3. 日常生活の支援

氏名 小坂愛・照井・長谷部・加藤・亀田  
阿部・田村(文)・小清水・岡田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・利用者様と共に「以前の暮らし」を振り返りながら、支援内容に活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・スタッフ個々で声掛けをしたり、聞き取りをしている様子は伺えたがその内容を上手く共有できていないように感じた。

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		6人 (66.7%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		5人 (55.6%)	2人 (22.2%)	2人 (22.2%)
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4人 (44.4%)	5人 (55.6%)		
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		5人 (55.6%)	3人 (33.3%)	1人 (11.1%)
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5人 (55.6%)	3人 (33.3%)	1人 (11.1%)	
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1人 (11.1%)	7人 (77.8%)	1人 (11.1%)	

できている点

- ・利用者様の身体状況や好み等も考慮した上で食事を提供している。
- ・利用者様の小さな変化にも気付けるように観察傾聴し、報告相談して記録に落とし込む事で共有できるようにしている。
- ・日々のコミュニケーションの中で以前の暮らしの話を引き出したり、現在は何を望みどのようにしていきたいかを聞くように努めている。
- ・利用者様に変化を見られた際は、主観的な意見になっていないか他スタッフへ意見を聞くようにしている。

できていない点 ※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ・声にならない声をどれだけ汲み取ってあげられているのか分からない。又、発している言葉が本心なのかが分からない事がある。
- ・以前の暮らしを把握できていない利用者様もいる。又、些細なこだわりも把握しきれていないかもしれない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

- ・言葉で伝えられない利用者様の声を汲み取ってあげるのには難しいと思う。本人ではなくご家族の意見が反映されてしまっているように思う。
- ・医療面やADLの情報が意識がいきがちで以前の暮らしについての意識が希薄なのかもしれない。
- ・集団である為、個々に話す機会を作るのが難しいように思う。
- ・個々の生活記録の読み返しが出来ていない。

次回までの具体的な改善策

- ・利用者様の声を大切にし、信頼関係を築くと共に些細な変化に気付けるように努めていく。

4. 地域での暮らしの支援

氏名 小坂愛・照井・長谷部・加藤・亀田  
阿部・田村(文)・小清水・岡田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・利用者様各々の地域資源の情報収集に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者様個々でどのような地域資源が活用し生活しているのか、少しずつではあるが見えてきたように思う。

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		6人 (66.7%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1人 (11.1%)	6人 (66.7%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1人 (11.1%)	6人 (66.7%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)	1人 (11.1%)	2人 (22.2%)

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の生活状況だけでなく、人間関係も含めて理解するようにしている。</li> <li>・利用者様から自宅での生活状況を聞いたり、訪問や送迎時にご家族に聞いたりしながら情報収集し共有している。</li> <li>・暮らしに必要な資源は活用するようにしている。</li> <li>・地域との関係が切れないように努めている。</li> <li>・ご家族の介護力の低下を防ぎ出来るだけ地域で暮らし続けていけるよう、利用者様とご家族との関係が切れないよう努めている。その上でご家族の負担になり過ぎないように配慮しながら、ご家族にも支援して頂けるように働きかけている。</li> </ul>
--------	---

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当館周辺の地域とは関わりを持っているが、利用者様個々になると把握しきれていない部分が多い。</li> <li>・独居の方や知症状がある方だと正確な情報の収集がしづらいと思う。</li> </ul>

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、コロナ禍で他者との関わりが難しくなってきた。</li> <li>・利用者様個々で考えると地域が広くなり、それだけ把握する範囲も広がる為、把握するのは難しくなると思う。</li> <li>・集団でいる為、プライベートな話に踏み込むとプライバシー保護にも触れるのではないかと思ひ躊躇する部分もある。又、話しながらない方もある。</li> </ul>
----------------------------	---

次回までの具体的な改善策	・利用者様の利用時間外の生活状況の把握に努め、暮らしに必要な支援を見極めていく。
--------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 8 月 31 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名 小坂愛・照井・長谷部・加藤・亀田  
阿部・田村(文)・小清水・岡田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・地域資源を効果的に活用し、利用者様の住み慣れた地域での生活を支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域資源について把握しつつあるが、効果的という面で見るともう少し生活内容等を考慮した検討が必要だと思った。

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		7人 (77.8%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		6人 (66.7%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2人 (22.2%)	6人 (66.7%)	1人 (11.1%)	
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2人 (22.2%)	6人 (66.7%)	1人 (11.1%)	
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2人 (22.2%)	8人 (88.9%)		

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズの把握に心掛け、必要な援助（通い、泊り、訪問）をその時々に合わせて柔軟に提供できるよう努めている。</li> <li>・出来る限りの地域資源（医療や床屋、販売店等）を活用している。</li> <li>・ミーティングが出来ない日でも変化に気付いた際は記録に残すように努め、相談報告し共有している。</li> <li>・食事に関して、その日の体調等も考慮し調整しながら提供している。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<p>※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改めて地域資源について考えた事がなかったので、活用できているのか分からない。</li> <li>・柔軟に対応したいと思っているが全ての要望には応えられない。</li> </ul>
---------	--

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源についての情報収集が足りていないのかもしれない。</li> <li>・利用者様やご家族が小規模多機能型居宅介護の在り方を理解できていないのかもしれない。老々介護であったり、独居の方だと説明するも理解できない場合もある。</li> <li>・人員や時間、規定等に制限もあり、利用者様同士も譲り合いながら利用している為、全ての要望に応えるのは難しいと思う。又、要望のみ聞き入れてしまうと介護力の低下に繋がったり、ニーズとのズレも生じてしまう事もある。</li> </ul>
-------------------------	--

次回までの具体的な改善策	・継続して、利用者様が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、地域資源を柔軟に活用していく。
--------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 8月 31日

6. 連携・協働

氏名 小坂愛・照井・長谷部・加藤・亀田  
阿部・田村(文)・小清水・岡田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・継続して、地域活動に参加しながら、より多くの方々に小規模多機能型居宅介護について、知って頂けるよう活動していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・今期もコロナ禍で地域活動が中止になることが多かった。又、様々な規制もあり思うように活動することが出来なかった。

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		5人 (55.6%)	3人 (33.3%)	1人 (11.1%)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2人 (22.2%)	5人 (55.6%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1人 (11.1%)	6人 (66.7%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		5人 (55.6%)	3人 (33.3%)	1人 (11.1%)

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係期間等との会議や地域活動は出来る限り参加するよう努めている。</li> <li>・コロナ禍で難しいとは思いますが、慰問や町内活動等で地域の方々の付き合いは大切にしている。</li> <li>・おおぞら市等で地域の方や他事業所との連携を図っている。</li> </ul>
--------	--

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。
	・コロナ禍で地域の方と接する機会が少なくなっている。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	
	・コロナ禍でイベント等が中止になってしまう為、関わりも持つ機会も減ってしまっているが、感染予防を考えると仕方がない事だと思う。

次回までの具体的な改善策	・地域の方々により多くお声を掛けていただけるような環境作りに努め、小規模多機能型居宅介護についても発信できる場を作っていきたい。
--------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月31日

7. 運営

氏名 小坂愛・照井・長谷部・加藤・亀田  
阿部・田村(文)・小清水・岡田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・当館として担える役割を模索しながら、地域課題を共に考えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナ禍で地域活動が中止となり、外部からの声を聞く機会が少なく当館からの発信も出来ていなかった。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		5人 (55.6%)	3人 (33.3%)	1人 (11.1%)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？		6人 (66.7%)	3人 (33.3%)	
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6人 (66.7%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6人 (66.7%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見や苦情等の声は傾聴し大事にしている。そして、スタッフ間で検討し共有したのち、業務へ反映するように取り組んでいる。</li> <li>おおぞら市で地域の方や他事業所と協働している。</li> <li>自分なりの考えがある時には、管理者等に相談している。又、面談の時に自分の意見等を伝えるようにしている。</li> <li>外掃除やイベント、移動販売車等で地域の方と交流した際は、挨拶を交わしたりと受け入れられている感じがする。</li> </ul>
--------	---

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方やご家族と関わる機会が少ない。</li> <li>地域に対してどのような役割があり、その役割が果たせているのかが不明である。</li> <li>苦情があるのか分からない。</li> </ul>	

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域からどんな声があり、何を求めているのかが不明確である為、どうアプローチしていいのかが分からないと思う。</li> <li>ご意見は大切に受け止めている。苦情はないのかもしれない。</li> <li>ケアマネや管理者が地域の方やご家族との関わりを密にしていると思う。</li> </ul>
-------------------------	--

次回までの具体的な改善策	・継続して、当館として担える役割を模索しながら、地域課題を共に考えていく。
--------------	---------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月31日

8. 質を向上するための取組み

氏名 小坂愛・照井・長谷部・加藤・亀田  
阿部・田村(文)・小清水・岡田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・勉強会のテーマを見直しながら、より業務に繋げられるような内容を策定していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナ禍で外部研修への参加が出来なかった。社内勉強会ではスタッフから「勉強になった」という声が多数聞かれた。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人 (11.1%)	7人 (77.8%)		1人 (11.1%)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)	2人 (22.2%)	
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5人 (55.6%)	3人 (33.3%)	1人 (11.1%)
③ 地域連絡会に参加していますか	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)	1人 (11.1%)	2人 (22.2%)
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)	1人 (11.1%)	2人 (22.2%)

**できている点**

- ・現状、外部の研修には参加できていないが、社内勉強会には参加できている。又、勉強会を担当した事により、資料作成等をする事で自身の勉強になっていると思うし、知識の共有にもなっている。
- ・自身の資格取得に取り組んでいる。
- ・勉強会に参加できない時は、きちんと勉強会資料を読み込んでいる。
- ・事故やトラブルがないように常に考えて行動している。
- ・地域での会議には、管理者やケアマネが出来る限り参加していると思う。
- ・リスクマネジメントの一つとしてヒヤリハットも共有し活用している。

**できていない点** ※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ・職場外の研修に参加できていない。
- ・職場全体ではなく、自身に対してのスキルアップの取り組みができていない。
- ・リスクマネジメントの意義をきちんと理解していないところがある。

**なぜ? どうして? できていないのか? (その理由)**

- ・コロナ禍での外部研修は、現状難しいのかもしれない。
- ・スタッフ配置が足りないとスタッフも業務を離れられないし、研修や勉強会へ費やす時間がないと思う。
- ・リスクマネジメントに対する理解や意識がたりないのかもしれない。
- ・自身のスキルアップについては、自身に対しての甘さなのではないだろうか。

**次回までの具体的な改善策**

- ・業務に直結するような勉強会内容を検討しながら、スタッフの質の向上に繋げていく。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月31日

9. 人権・プライバシー

氏名 小坂愛・照井・長谷部・加藤・亀田  
阿部・田村(文)・小清水・岡田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、身体拘束、虐待のないケアに取り組んでいく。</li> <li>利用者様の目線でプライバシーの配慮を心掛けていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束、虐待のないケアに取り組む事ができた。</li> <li>プライバシーへの配慮に関しては、スタッフ個々の意識の違いもあり継続しての取組みが必要と感じた。</li> </ul>

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	4人 (44.4%)	6人 (66.7%)		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 身体拘束をしていない	9人 (100%)			
② 虐待は行われていない	9人 (100%)			
③ プライバシーが守られている	4人 (44.4%)	5人 (55.6%)		
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)	2人 (22.2%)	1人 (11.1%)
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	4人 (44.4%)	5人 (55.6%)		

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束や虐待は行っていない。</li> <li>個人情報やプライバシー保護について、意識して常に配慮している。</li> <li>現在、成年後見制度を活用している方はいないが勉強会で調べる機会もあり、情報提供できるように備えている。</li> </ul>
--------	---

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見制度についての資料を読んだが理解するのが難しい。</li> <li>話の流れで個人情報を話してしまいそうな時がある。</li> </ul>	

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解しようとする意識が足りないのかもしれない。</li> <li>個人情報についても気のゆるみからだと思う。話してしまっている自覚がないのかもしれない。</li> </ul>
-------------------------	--

次回までの具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、身体拘束、虐待のないケアに取り組んでいく。</li> <li>利用者様の人権や尊厳を大切にしながら、プライバシーや個人情報の保護に取り組んでいく。</li> </ul>
--------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 コサカ・ライフサポート	代表者	小坂 忍	法人・ 事業所 の特徴	「感謝をもって誠をつくす」を理念とし、ご利用者個々の暮らしのニーズに柔軟に対応する事を心がけています。
事業所名	小規模多機能の家 是川浄信館	管理者	小坂 愛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	13人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	18人

※出席者について…新型コロナウイルス流行に伴い運営推進会議の開催を中止とした為、各必要書類を書面にて配布する事によりご意見を頂きました。  
上記人数欄には書面配布を行った人数を記入しておりますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の結果を踏まえ、事業所自己評価の「具体的な改善計画」を定期的に振り返る。</li> <li>継続して、24時間シートの見直しと改善に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の振り返りはあったものの、ご意見の通り改善計画が抽象的になっていると感じた。各項目に対して、いくつかの課題があり、それを総合的にまとめた形になっていた。漠然としたものでは取り組む側の支援が曖昧になってしまった部分もあったかと思う。</li> <li>24時間シートは細目に見直しと改善をする事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な改善計画がぼやけた策となっているように感じます。職員が良い視点でできない理由をあげているだけに勿体なく感じました。その為、具体的な取組みをあげた方が良いと思うし、その方が評価する時も評価しやすいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善計画を具体的にし、分かりやすく項目を挙げ、職員間で達成できるよう努める。</li> <li>継続して、24時間シートの見直しと改善に努め、職員が閲覧しやすいようファイリングを工夫する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク環境を整える。</li> <li>感染症対策に努めながら、居心地の良い環境作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク環境に関して、対面での会議ではなくリモートでの会議に切り替えた。また、コロナ禍で帰省できないご家族に対して、お顔を見てお話できるようにリモートで対面して頂き、ご家族、利用者様共に大変喜んでもらい、安心したというお声をいただくことができた。</li> <li>感染症対策として、消毒や手洗い、マスク着用等のご協力いただきながら、支援に努めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見等、特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、感染予防対策に努める。</li> <li>事業所内の装飾だけではなく、利用者個々が落ち着ける空間を作れるよう努める。</li> </ul>

C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教室等に参加させて頂き、地域の方々の健康づくりのお手伝いをする。</li> <li>継続して、あおぞら市相談所へ参加させて頂き、地域の中の相談窓口的な役割になれるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策をしながら健康教室やあおぞら市相談所へ参加させて頂き、少しずつではあるが地域の方からの介護相談をお受けする機会もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍なので行事やイベントに参加するのは無理だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染状況に応じて、健康教室やあおぞら市相談所へ参加すると共にパンフレット等を配布し、当館を身近な場として認識してもらえようアプローチする。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、地域の行事やイベントに参加できるよう配慮していく。</li> <li>地域資源とは何かを改めて学び、地域資源の個別化を図れるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の為、地域の行事やイベントが中止となり、利用者様も参加できる状況ではなかった。</li> <li>個別評価の際に地域資源について改めて話し合い、利用者個々にどのような資源を活用しているのか、また必要なかを再確認することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍なので利用者も行事やイベントに参加するのは無理だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染状況をみながら、地域の行事やイベントに参加し、散歩やドライブ等で地域に出向く機会を作る。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議の内容を職員間で共通理解し、地域での取り組みを知る事により、事業所として何が出来るのか試案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議での資料は、いつでも閲覧できるように掲示し共有することができた。他、運営推進会議が書面中心になってしまい、一方的な情報伝達になってしまわないよう、ご意見用紙を設けて皆様からのご意見を回収することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見等、特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議を社会資源とし、出された提案を実現できるよう努める。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>当館での消防訓練の他に地域で行われている防災訓練にも参加する。</li> <li>災害時の感染予防対策を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防訓練を2回実施。感染予防の観点から地域の方々へはお声がけせず、当館職員と設備業者とで実施した。</li> <li>感染予防対策としてマスク等も含め、備蓄品の点検と補充をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見等、特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染状況をみながら、地域の方々にも消防訓練に参加していただく。</li> <li>AED設置事業所である事を認識していただけるよう周知を図る。</li> </ul>